

## 中酪情報 No.528

2010年7月31日発行

毎号奇数月末発行

発行：社団法人 中央酪農会議

編集・発行人：前田浩史

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

TEL：03-3219-2611（代） FAX：03-3219-2622

**ご意見・ご感想をお寄せください。**

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

### 宛先及びお問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部

TEL：03-3219-2611(代) FAX：03-3219-2622

<http://www.dairy.co.jp/>

(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

### 編集後記

師曰く、「牛乳を深く知ると、“そんなにいいのなら飲んでみるか”となるはずである。」日々の生活において、消費者は効用の多寡によって購入する食品を決めている。だから、牛乳の消費を拡大するには、牛乳の「正しい知識」をしっかりと広める必要がある。これが酪農学園大学の鈴木先生の主張です。

ただし、鈴木先生が言う「正しい知識」には、牛乳の栄養価値だけではなく、現代人の食習慣やライフサイクルの変化を考え合わせた、多様な牛乳消費のスタイルも含んでいるように思う。牛乳の消費拡大キャンペーンが、「体にいいから飲んでみよう」という健康訴求型から、「ライフスタイルにフィットしているから飲んでみよう」という嗜好訴求型へ、新たな一歩を踏み出すことを期待したいものです。

ところで、子どもたちが夏休みに入り、小中学生のお子さんやお孫さんをお持ちの方は、いろいろと夏休みの計画を練られているのでしょうか。長い夏休みの間に、牛乳の新しい飲み方や食べ方を一緒に試してみてもは如何でしょうか。牛乳と麦茶で苦くないコーヒーなんて、ちょっとオシャレかもしれませんね